

荒川の城を攻取居城とし角館の場小坂の土家を
掃め放火しる由角館に用へられ道盛公戸前を
攻落し近隣北越公を除かんこと永正六年四月三日
館を市立荒川に越かし其人より小山田外記小館
市兵衛細田備前田口善濃戸次彦九郎萬野佐
渡井関五郎八傳の庄九郎戸次修理田口平次郎永
山淡路丸山喜太郎鈴木丹波大次甚平門屋肥前下
田作藏管庄八郎堺田駿河遠藤主水佐々木新吉
大野関但馬秋友河内茂木因幡大森八郎近藤
孝三郎平賀太郎八等を始として七百余騎同六日

曉より荒川の城を攻る城中にも勇士多く櫓を籠り矢
種をかりまづ射止し水石を起し防く戸次修理生
年十八歳貞先小進る城の門の扉を打破りを番小
景込城兵も密く守て防られ共始終あらず難くや思
ふに城主戸前軍門に降り荒川の城に近藤岩見守
河藤三郎蒔造酒允場田駿河守武右衛門人より一添
て残りぬむの角館に市降り斯て永正七年五月
十三日千余騎を率し小野寺方へ城くを攻む角
館より六郷を至大楢を渡り押通り布部子劔子
大楢越後守家をせんと戦ふといふ共戸次は衆より助を越